

愛知県で豚コレラ連続発生！！

★愛知県田原市（国内14例目）

【飼養状況】 1, 647頭

【発生の経緯】

3月27日 農場より飼養豚が異状を呈しているとの報告を受け、立入検査を実施。家畜保健衛生所の検査で豚コレラの疑いあり。

3月28日 農研機構動物衛生研究部門にて精密検査を実施、豚コレラの患畜であることが判明。

※本農場と隣接し、堆肥舎等の施設が共同で利用される3農場（飼養状況；5,972頭）について、すべての豚を疑似患畜として防疫措置を講じることが決定。

★愛知県瀬戸市（国内15例目）

【飼養状況】 1, 441頭

【発生の経緯】

3月27日 瀬戸市の養豚農場で豚コレラが発生したことに関連し、移動制限区域内の隣接農場の検査を実施。

3月29日 本農場の豚が豚コレラの疑似患畜であることが判明。

★愛知県田原市（国内16例目）

【飼養状況】 997頭

【発生の経緯】

3月28日 農場から飼養豚が異状を呈していると報告を受け、立入検査を実施。家畜保健衛生所の検査で豚コレラの疑いあり。

3月29日 精密検査にて豚コレラの疑似患畜であることが判明。

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所 TEL 0573-26-1111 ,FAX 0573-25-7669

平日の時間外（午前8時30分～午後5時15分以外）及び休日に連絡の必要な場合は、警備室 **0573-26-1114** に電話し、「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」と伝えると、警備員が家畜保健衛生所職員におつなぎします。

養豚農家の皆様へ

豚コレラ 発生予防対策について

豚コレラの発生を防ぐためには、各農場の飼養管理・衛生管理を徹底して、ウイルスの侵入を防ぐことが大切です。(飼養衛生管理チェック表 参照)

1) 人・物・車両によるウイルス持ち込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒を徹底してください
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底してください
- ・畜舎等の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、逆性石けん液等を用いて行ってください
- ・車両消毒は、車体を腐食しにくい逆性石けん液、消石灰等を用いてください
(付着した泥等を除去し、動力噴霧器を用いて、タイヤ周りを中心に荷台、運転席清拭含め車両全体を消毒。運転手の手指、靴底消毒も徹底)
- * 消毒薬は、酸性とアルカリ性が混ざらないように注意し、十分効果のある濃度で使用

2) 消石灰の散布

- ・豚舎周囲、衛生管理区域境界に消石灰を散布しましょう
消石灰の散布量の目安: 1kg/m²

3) 野生動物対策

- ・いのしし、ねずみ等の野生動物の侵入防止対策を徹底してください
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓(飼料タンク下の飼料は野生動物を誘因します)
- ・死亡した家畜は、野生動物に荒らされないよう適切に保管してください

4) 適切な飼料と水の給与

- ・野生動物等の排せつ物が混入していない飼料、水を与えてください
- ・飼料に肉を含み、または含む可能性があるときは、70℃、30分間以上または80℃、3分間以上の加熱処理を徹底

5) 健康観察・早期通報の徹底

- ・毎日、健康観察をしてください
- ・発熱、起立困難、けいれん、異常産の発生、死亡率の上昇など異状を発見したら家畜保健衛生所、担当獣医師に連絡してください